

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和4年4月6日(2022.4.6)

【国際公開番号】WO2021/024372

【出願番号】特願2021-538581(P2021-538581)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 5 0 / 1 0 (2 0 1 2 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 Q 5 0 / 1 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月25日(2020.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(削除)

20

【請求項2】

(削除)

【請求項3】

(削除)

【請求項4】

(削除)

【請求項5】

(削除)

【請求項6】

(削除)

30

【請求項7】

(削除)

【請求項8】

(削除)

【請求項9】

ユーザが各時刻に発したオノマトペである学習用のオノマトペと、前記ユーザが前記学習用のオノマトペを発した前記各時刻の前記ユーザの気分の評価値である学習用の気分情報とを少なくとも含む学習データを記憶する記憶部と、

前記学習データを用いて、ある時刻までの2つ以上のオノマトペによる時系列を少なくとも入力とし、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する学習部とを含む、

40

学習装置。

【請求項10】

請求項9に記載の学習装置であって、

撮影機能と、顔認証機能と、表情検知機能とを備えるコミュニケーション情報取得部を更に含み、

前記コミュニケーション情報取得部は、

前記オノマトペを発した各時刻について、

前記撮影機能で撮影した人物の顔認証を行って前記ユーザが会っている人物を示す情報を

50

得て、

前記表情検知機能により、前記ユーザの表情を示す情報、前記会っている人物の表情を示す情報、を得て、

得た前記情報を前記学習データに含めて前記記憶部に記憶し、

前記学習部は、

対象者が会っている人物を示す情報、対象者の表情を示す情報、対象者が会っている人物の表情を示す情報、も入力として、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する、

学習装置。

【請求項 11】

10

請求項 9 に記載の学習装置であって、

ウェアラブルデバイスにより生体情報を得る生体情報取得部を更に含み、

前記生体情報取得部は、

前記オノマトペを発した各時刻について、前記ユーザの生体情報を得て、得た前記生体情報を前記学習データに含めて前記記憶部に記憶し、

前記学習部は、

対象者の生体情報も入力として、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する、

学習装置。

【請求項 12】

20

請求項 9 から 11 の何れかに記載の学習装置であって、

前記記憶部に記憶する学習データには前記各オノマトペを発した時刻も含まれ、

前記学習部は、

前記ある時刻までの 2 つ以上のオノマトペに対応する時刻またはそれらの時刻差も入力として、または、前記ある時刻までの 2 つ以上のオノマトペの受付順序とそれらのオノマトペに対応する時刻の時間間隔も入力として、前記ある時刻よりも後の気分を推定するモデル推定モデルを学習する、

学習装置。

【請求項 13】

30

請求項 9 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、

前記推定モデルを用いて、入力された 2 つ以上の対象者のオノマトペとその入力順序とに少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、

推定装置。

【請求項 14】

請求項 10 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、撮影機能と、顔認証機能と、表情検知機能とを備え、

前記撮影機能で撮影した人物の顔認証を行って対象者が会っている人物を示す情報を得て、

、

前記表情検知機能により、前記対象者の表情を示す情報、前記会っている人物の表情を示す情報、を得る

40

コミュニケーション情報取得部と、

前記推定モデルを用いて、入力された 2 つ以上の前記対象者のオノマトペとその入力順序と、当該各オノマトペを発したときに前記コミュニケーション情報取得部が得た前記情報と、に少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、

推定装置。

【請求項 15】

請求項 11 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、

ウェアラブルデバイスにより対象者の生体情報を得る生体情報取得部と、

前記推定モデルを用いて、入力された 2 つ以上の前記対象者のオノマトペとその入力順序と、当該各オノマトペを発したときに前記生体情報取得部が得た前記対象者の前記生体情

50

報と、に少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、推定装置。

【請求項 16】

請求項 12 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、前記推定モデルを用いて、入力された 2 つ以上の対象者のオノマトペと、入力された前記各オノマトペに対応する時刻またはそれらの時刻差、または、入力された前記各オノマトペの受付順序とそれらのオノマトペに対応する時刻の時間間隔と、に少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、推定装置。

【請求項 17】

オノマトペと感嘆詞の少なくとも何れかにカテゴライズされる語が心理状態感性表現語であるとして、ユーザが各時刻に発した心理状態感性表現語である学習用の心理状態感性表現語と、前記ユーザが前記学習用の心理状態感性表現語を発した前記各時刻の前記ユーザの気分の評価値である学習用の気分情報とを少なくとも含む学習データを記憶する記憶部と、前記学習データを用いて、ある時刻までの 2 つ以上の心理状態感性表現語による時系列を少なくとも入力とし、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する学習部とを含む、学習装置。

10

【請求項 18】

請求項 17 に記載の学習装置であって、撮影機能と、顔認証機能と、表情検知機能とを備えるコミュニケーション情報取得部を更に含み、前記コミュニケーション情報取得部は、前記心理状態感性表現語を発した各時刻について、前記撮影機能で撮影した人物の顔認証を行って前記ユーザが会っている人物を示す情報を得て、前記表情検知機能により、前記ユーザの表情を示す情報、前記会っている人物の表情を示す情報、を得て、得た前記情報を前記学習データに含めて前記記憶部に記憶し、前記学習部は、対象者が会っている人物を示す情報、対象者の表情を示す情報、対象者が会っている人物の表情を示す情報、も入力として、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する、学習装置。

20

【請求項 19】

請求項 17 に記載の学習装置であって、ウェアラブルデバイスにより生体情報を得る生体情報取得部を更に含み、前記生体情報取得部は、前記心理状態感性表現語を発した各時刻について、前記ユーザの生体情報を得て、得た前記生体情報を前記学習データに含めて前記記憶部に記憶し、前記学習部は、対象者の生体情報も入力として、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する、学習装置。

30

40

【請求項 20】

請求項 17 から 19 の何れかに記載の学習装置であって、前記記憶部に記憶する学習データには前記各心理状態感性表現語を発した時刻も含まれ、前記学習部は、前記ある時刻までの 2 つ以上の心理状態感性表現語に対応する時刻またはそれらの時刻差

50

も入力として、または、前記ある時刻までの２つ以上の心理状態感性表現語の受付順序とそれらの心理状態感性表現語に対応する時刻の時間間隔も入力として、前記ある時刻よりも後の気分を推定するモデル推定モデルを学習する、
学習装置。

【請求項 2 1】

請求項 1 7 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、前記推定モデルを用いて、入力された２つ以上の対象者の心理状態感性表現語とその入力順序とに少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、推定装置。

【請求項 2 2】

請求項 1 8 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、撮影機能と、顔認証機能と、表情検知機能とを備え、前記撮影機能で撮影した人物の顔認証を行って対象者が会っている人物を示す情報を得て、
前記表情検知機能により、前記対象者の表情を示す情報、前記会っている人物の表情を示す情報、を得る

コミュニケーション情報取得部と、

前記推定モデルを用いて、入力された２つ以上の前記対象者の心理状態感性表現語とその入力順序と、当該各心理状態感性表現語を発したときに前記コミュニケーション情報取得部が得た前記情報と、に少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、
推定装置。

【請求項 2 3】

請求項 1 9 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、ウェアラブルデバイスにより対象者の生体情報を得る生体情報取得部と、前記推定モデルを用いて、入力された２つ以上の前記対象者の心理状態感性表現語とその入力順序と、当該各心理状態感性表現語を発したときに前記生体情報取得部が得た前記対象者の前記生体情報と、に少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、
推定装置。

【請求項 2 4】

請求項 2 0 に記載の学習装置で学習された推定モデルを記憶した推定モデル記憶部と、前記推定モデルを用いて、入力された２つ以上の対象者の心理状態感性表現語と、入力された前記各心理状態感性表現語に対応する時刻またはそれらの時刻差、または、入力された前記各心理状態感性表現語の受付順序とそれらの心理状態感性表現語に対応する時刻の時間間隔と、に少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定部と、を含む、
推定装置。

【請求項 2 5】

オノマトペと感嘆詞の少なくとも何れかにカテゴライズされる語が心理状態感性表現語であるとして、
記憶部には、ユーザが各時刻に発した心理状態感性表現語である学習用の心理状態感性表現語と、前記ユーザが前記学習用の心理状態感性表現語を発した前記各時刻の前記ユーザの気分の評価値である学習用の気分情報とを少なくとも含む学習データが記憶されるものとし、

前記学習データを用いて、ある時刻までの２つ以上の心理状態感性表現語による時系列を少なくとも入力とし、前記ある時刻よりも後の気分を推定する推定モデルを学習する学習ステップとを含む、
学習方法。

【請求項 2 6】

10

20

30

40

50

請求項 2 5 に記載の学習方法で学習された推定モデルが推定モデル記憶部に記憶されるものとし、
前記推定モデルを用いて、入力された 2 つ以上の対象者の心理状態感性表現語とその入力順序とに少なくとも基づいて、前記対象者の未来の気分を推定する推定ステップと、
を含む、推定方法。

【請求項 2 7】

請求項 9 から請求項 1 2 および請求項 1 7 から 2 0 の何れかの学習装置、または、請求項 1 3 から請求項 1 6 および請求項 2 1 から 2 4 の何れかの推定装置としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

10

20

30

40

50